

20051

当院における「Dynamic Stent View」有効症例と安全性について

近年 IVR は、虚血性冠動脈疾患へ欠かすことの出来ない治療法の一つであり、その技術も高度化しており、島津製作所製「Dynamic Stent View」(以下 DSV) はステントの視認性を向上させるソフトウェアである。当院では 2012 年 5 月に導入し、DSV を有効的に使用することで PCI が安全に行なえた症例を報告する。

DSV は、PCI 施行症例ほぼ全例に使用し、DSV を使用することでステントや後拡張時バルーンの位置決め、ステントの拡張不良や変形の予防が出来、より安全 PCI が行えた。有効症例については、実例を挙げて報告を行う。

ステント端を重ねる場合やステント内でのバルーン再拡張をする際の位置決めは時間を置いての画像表示では拍動の影響で位置ずれが起こりうるため、リアルタイム表示の DSV は有効であった。また、ステントは薄く複雑な構造をしているため高度屈曲部へのステント留置や中樞側が浮いたステント端はデバイス先端部が当たることでステント変形が起こりやすいが、DSV のステント視認性向上により、その都度 IVUS を使わなくてもステントの拡張不良や変形なども把握することができ、追加拡張もすぐに行え、IVUS カテなどでのステント変形に対しても有効であった。

DSV は、より安全に PCI を施行するための有効的なソフトウェアである。

評価 1	評価 2	評価 3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号